取扱説明書 ― 保管用 ―

yamada

蛍光ランプ・シーリングライト

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書いてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。
お買い求めいただいた商品と説明図が一部異なる部分がございますが、あらかじめご了承ください。

お 客 様 へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

タイプ	定格電圧	定格周波数	消費電力	適合ランプ
20Wタイプ	AC100V	50Hz又は60Hz	21.5W	FL20Wタイプ

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
🚫　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

■施工上の注意

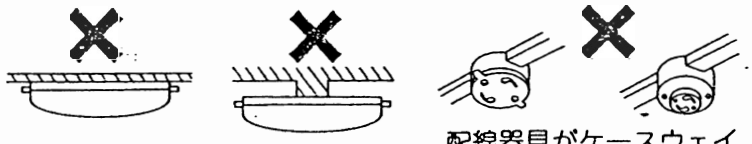
⚠警告

❗ 器具の取り付けは、説明書にしたがい確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

🚫 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因になります。

🚫 次のような場所には取り付けないでください。　★器具の落下事故による器具の破損やけがの原因になります。

不安定な場所や補強材の無い場所



補強の無い場所　不安定な場所　配線器具がケースウェイに取り付いているもの

❗ 必ずVVFφ1.6または φ2.0の単線ケーブルを使用してください。
★指定以外のケーブルを使用すると、接触不良による過熱によって火災になる場合があります。

❗ 端子に差し込むケーブルの芯線は、真っ直ぐな線を正しく挿入してください。
★曲がった芯線やよれた芯線は、接続不良となり接触抵抗の増加を招いて火災の原因となる場合があります。

🚫 器具の改造、部品の組み替えはしないでください。
★感電や漏電などの事故、故障の原因となります。

⚠注意

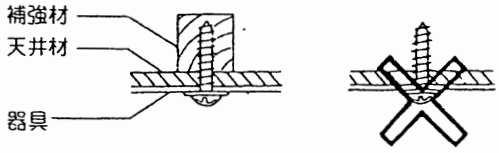
🚫 この器具はAC100V専用で50Hz，60Hzの器具がありますのでHzに合ったものをお使いください。
★指定の電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

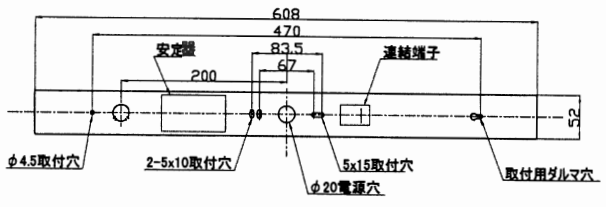
🚫 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯（チラつきや立ち消えなど）や調光器、照明器具の故障の原因となります。

取り付け場所の確認

⚠警告　器具は必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けると器具の落下事故の原因となります。



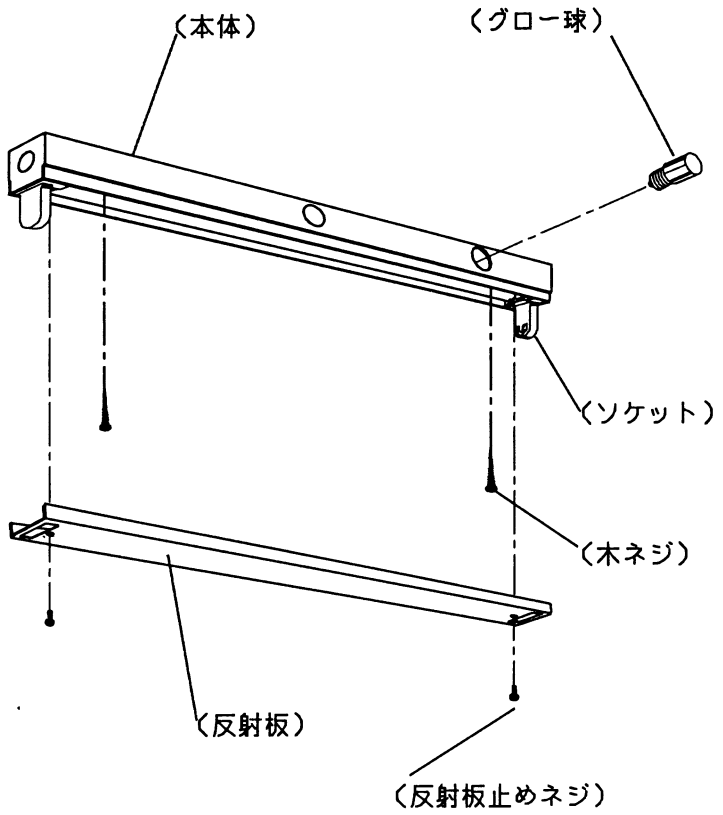
◆取り付けピッチと電源位置



各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。）

（器具構成図）



（附属品）

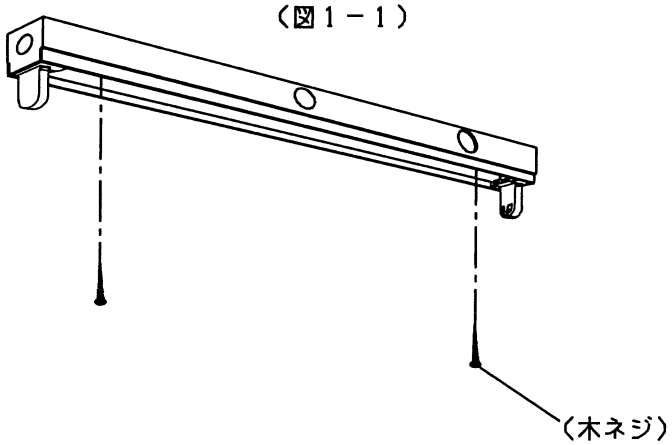
- 木ネジ（本体取付用）（38mm）・　2 本
- ネジ（反射板取付用）（M3・6mm）　2 本
- 直管形蛍光ランプ　20Wタイプ（FL20SS/18）　別 途
- グロー球（FG－1E）・　1 個
- 取扱説明書（本　書）　1 枚

取り付け方

⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

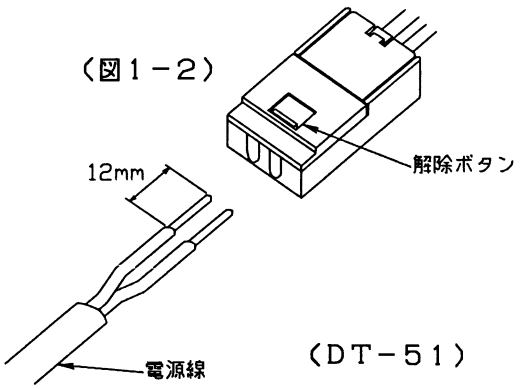
⚠警告　器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

（図1－1）

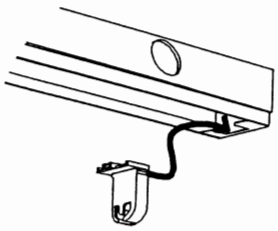


1. 本体電源穴に電源線を通し電源線スペースに引き出します。
2. 本体を付属の木ネジ（2本）にて天井に固定します。(図1-1)
3. 電源線を本体の速結端子に接続します。(図1-2)
   (電源線の被覆の剥ぎ寸法　図1-2)

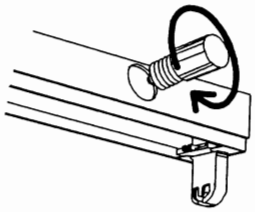
（図1－2）



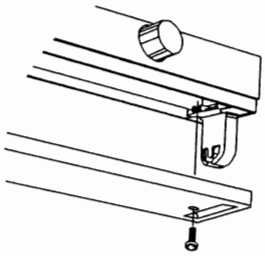
（DT－51）



（ソケット）
（図２－１）



（グロー球）
（図２－２）



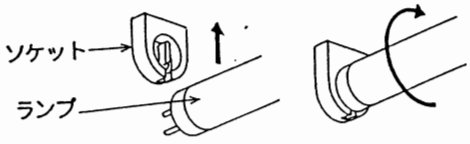
（反射板）
（図２－３）

4．ソケットを取付けます。
（図２－１）のようにソケットを本体から取り出し、本体端にスライドさせて取付けます。

5．グロー球を取付けます。
（図２－２）のようにグロー球を、グローソケットに本体側面よりねじ込みます。

6．反射板を取付けます。
（図２－３）のように反射板を同梱ネジ２ヶにて取付けます。

7．ランプをセットします。
（図２－４）
①蛍光ランプのピンをソケットの溝に沿って奥までしっかり抽入します。
②蛍光ランプを 90°回転させます。
③電源を入れて、点灯を確かめてください。



（図２－４）

■使用上の注意

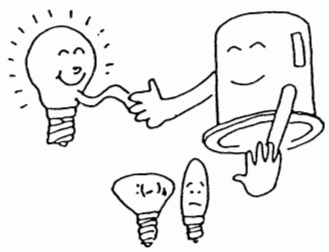
⚠警告

濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

器具の改造、部品の組み替えはしないでください。
★感電や漏電などの事故、故障の原因となります。

必ず指定されたランプ（適合ランプ）を使用してください。



★不適合なランプを使用すると、点灯不良（チラつきや立ち消えなど）や器具の故障の原因となります。

ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠注意

器具のそばでストーブなど発熱する物を使用しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

点灯中や消灯直後のランプ、器具の内側には触らないでください。
★火傷の原因となります。

お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
●ランプ交換について：ランプが黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

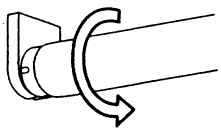
●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手でさわらないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。　**★火傷の原因となります。**
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると、不点灯や点灯不良（チラつきや立ち消えなど）の原因となります。また、インバータの異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷を付けたり変色や変質の原因となります。

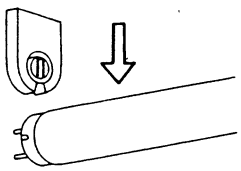
◆ランプの交換

1. 壁スイッチを切ります。

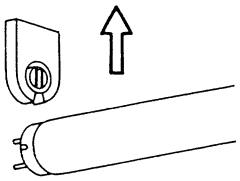
2. ランプをはずします。
①蛍光ランプを90°回転させます。



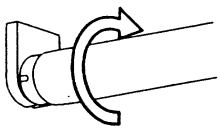
②ソケットの溝に沿ってランプのピンを抜きます。



3. 新しいランプをセットします。
①ランプのピンをソケットの溝に沿って奥までしっかり挿入します。

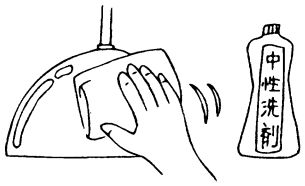


②蛍光ランプを90°回転させます。



◆お手入れのしかた

①スイッチを切ります。
②柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明営業窓口にご相談ください。